

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和5年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容 - 健康の増進 個別支援が必要な後期高齢者の訪問指導、通いの場等における健康状態の把握や健康相談を実施した。 <table> <tr> <td>健康相談件数※</td> <td>61 件</td> </tr> <tr> <td>訪問件数※</td> <td>111 件</td> </tr> </table> ※件数は高齢者以外の成人を含む - 高齢者の生きがいくくり、一般介護予防事業の推進 足うら健康クラブ：回数 24 回 / 延参加者数 534 人 足うら健康サロン：開催件数 6 件 くすの木クラブ（運動）：回数 186 回 / 延参加者数 3,710 人 くすの木クラブ（脳トレ）：回数 95 回 / 延参加者数 948 人 介護予防サポーター数：182 人 今年度新規登録者数：14 人		健康相談件数※	61 件	訪問件数※	111 件
健康相談件数※	61 件				
訪問件数※	111 件				
自己評価結果 健康相談件数、訪問件数 【○】 KDBシステムを活用し、生活習慣病重症化リスクが高い後期高齢者や、健診・医療・介護の履歴がなく健康状態が不明な後期高齢者を抽出し、保健師が訪問指導や必要なサービスへの接続を行った。また、通いの場に保健師が積極的に関与して健康状態の把握や健康相談を実施し、前年度より実施件数は増加した。一体的実施事業により後期高齢者の保健事業は充実を図ることができたため「○」と評価した。					

- ・介護予防事業の実施状況、参加者数

【○】

今年度より、市医師会、市歯科医師会、薬剤師会の協力を得て市内医療機関、歯科医院、調剤薬局に介護予防教室のちらしを設置したところ教室の新規利用者が増加し、関係団体との連携により介護予防事業の普及啓発や参加勧奨に努めることができた。また、介護予防ポイント事業では、111 名が参加し、ポイント付与となる対象事業への参加促進に繋がったため「○」と評価した。

- ・介護予防サポーター数

【◎】

年度末時点のサポーター数も 182 名と目標値に到達することができ、新規登録者のうち 1 名が年度内に市の介護予防教室でのサポーター活動につながっており、関心の高い早期に具体的活動につなげるための支援ができたため「◎」と評価した。

課題と対応策

- ・健康の増進

地域分析より、フレイル状態や生活習慣病重症化リスクが高いことや健診受診率の低下などが課題となっているため、引き続き健診・医療・介護データを活用し支援が必要な高齢者の健康状態の把握及び必要なサービスへの接続を行う。また、高齢者の集まる通いの場へ保健師や歯科衛生士、リハビリ職など専門職が出向き、健康状態の把握や健康教育、健康相談を実施しているが、より多くの通いの場に関与できるよう積極的に普及啓発などを行う。

- ・介護予防事業の実施状況、参加者数

通いの場へ専門職を派遣する事業の件数が伸び悩んでおり、要因として通いの場の参加者の高齢化により実施のための調整等に手間がかかっていることが考えられるため、今後は手続きの負担の軽減や事業内容の充実を図る。

かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師等と連携した介護予防事業の周知や参加勧奨により新規利用者が増加したため、今年度も継続して連携を行う。

- ・介護予防サポーター数

介護予防サポーターの登録者数は増加傾向だが、実際に活動しているサポーターは少ない。引き続き、介護予防教室に参加中の方から活動意欲が高い方に声をかけたり、市役所の成人担当課と連携した情報提供を行い、新規のサポーター（特に若年層のサポーター）の獲得に努める。